「第16回釜ヶ崎講座・講演のつどい」

―東日本大震災と失業問題―

２０１１年　３月１１日、三陸沖を震源地とする巨大地震とそれによる大津波が発生、福島・宮城・岩手を中心とした東北・南関東地域に甚大な被害をもたらしました。そして、この巨大地震は福島原子力発電所の破壊、放射性物質漏れという最悪の事態をも引き起こすにいたり、「原発安全神話」の崩壊を万人の前にさらすにいたりました。

あれから１０カ月以上を経て、東北の人々は生活の再建のため共に助けあって、困難に立ち向かっています。しかし１９９５年の「阪神・淡路大震災」とは、比べるべくもない規模での産業と働き場所の破壊と喪失の中で、大多数の人々が職を失い、生活困難をかかえているといえます。

この間、釜ヶ崎より、生活と就労を考えてきた釜ヶ崎講座は、今回、「東北大震災と失業問題」に焦点をあて、現地宮城県を中心とした生活・就労支援の実態の報告をききながら、合わせて、釜ヶ崎からの東北現地への支援活動をおりまぜ、「講演のつどい」をもちます。その中から仕事とその社会的仕組みづくりの方向という点での学習を、みなさんと共にしていきたいと考えています。みなさんの積極的なご参加をお待ちしております。

時　2012年1月28日（土）　午後6時30分開演

講師　配島一匡（ハイジマ　カズマサ）さん
宮城　共生地域創造財団

現地支援報告　渡邉充春さん　（歯科保健研究会・わたなべ往診歯科）
佐々木純一さん（釜ヶ崎日雇労働組合書記長）

会場　西成市民館3F講堂　大阪市西成区萩之茶屋２－９－１
TEL　06－6633－7200
（地下鉄御堂筋線「動物園前」、四つ橋線「花園町」、徒歩7分）

資料代　500 円

釜ヶ崎講座
大阪港郵便局私書箱40号
大阪市西成区萩之茶屋１－９－７
釜ヶ崎日雇労働組合気付
事務局　090－2063－7704